

R2SONIC 社製 Sonic202x システムに関する

Gate Trac / Range Trac 機能のご紹介

2011 年 6 月

株式会社東陽テクニカ

海洋計測部

今回リリースされました Sonic Control 2000 ソフトウェア新バージョン(ハードウェア: 14-Mar-2011, ソフトウェア Built: 3/29/2011)では、従来のマニュアル操作による Range および Gate 機能に加え、オート Gate Trac/Range Trac という機能が搭載されました。(図 1)

使用方法は以下の通りです。

①Enable Gates のチェックボックスにチェックします。

②左上のプルダウンメニューから Gate Trac を選択します。

Gate Manual : 従来のマニュアルによる Gate 機能です。

Gate Trac:Depth : 直下水深に応じて自動で上下方向に Gate を変更します。

Gate Trac:Depth + Slope : 上下だけでなく、自動的に Gate の角度(Slope)を変更します。

③Gate Width ボタン上で左/右クリックすることで Gate の幅を決定します。(±5% ~ ±90%)

直下水深が 10m、Gate Width が±30%の場合、7m ~ 13m の幅で Gate が働きます。

④Range Trac のチェックボックスにチェックする事により、自動的に適切な Range 設定を行います。

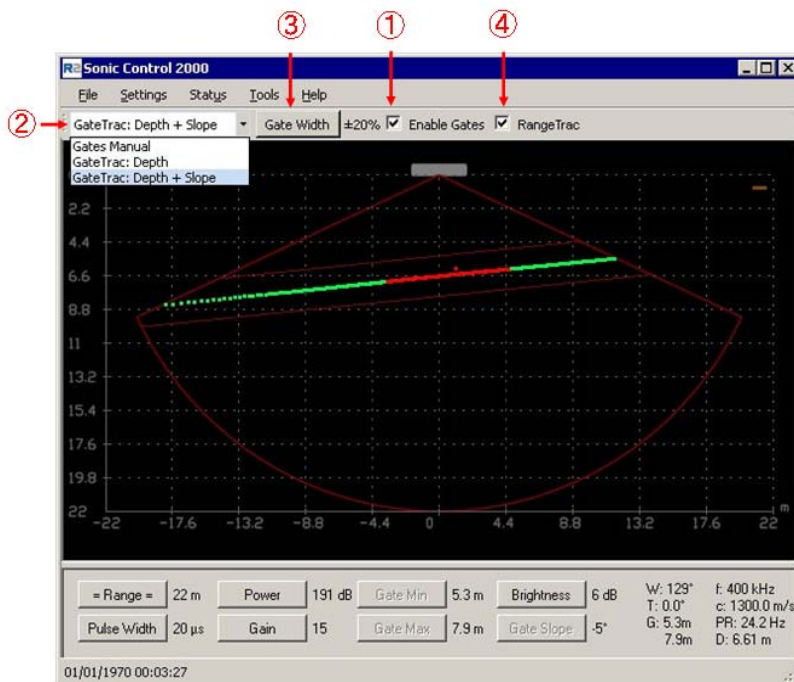
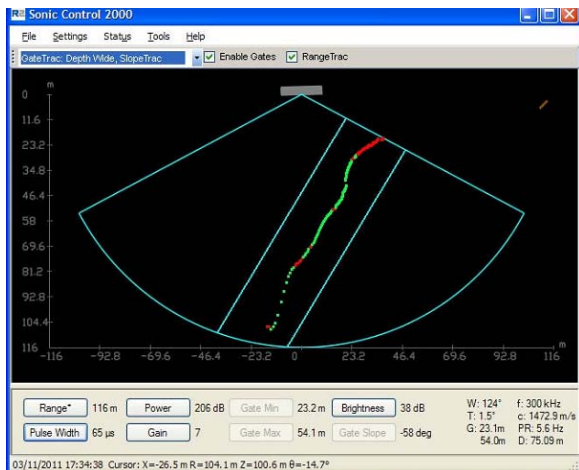


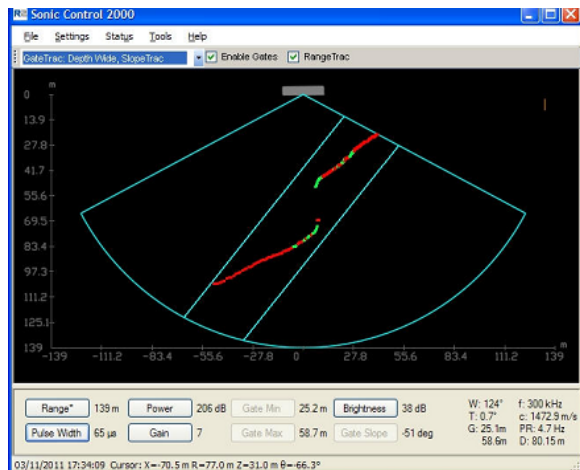
図 1. 新バージョンの Sonic Control 2000 ソフトウェア画面

急峻な海底エリアや構造物も Gate Trac、Range Trac 機能を正しく使用することで、簡単にオペレーション可能です。

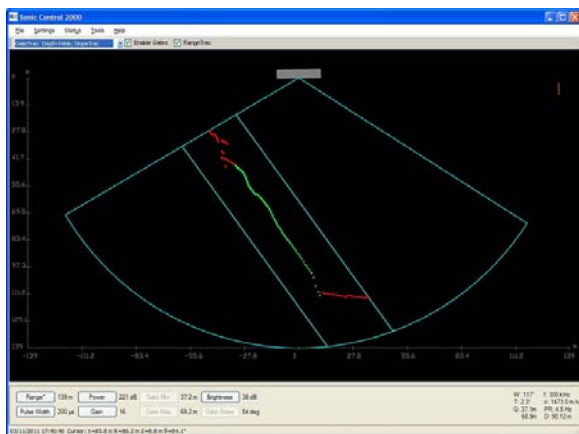
以下の条件でも Gate Trac, Range Trac 機能をご使用いただけます。



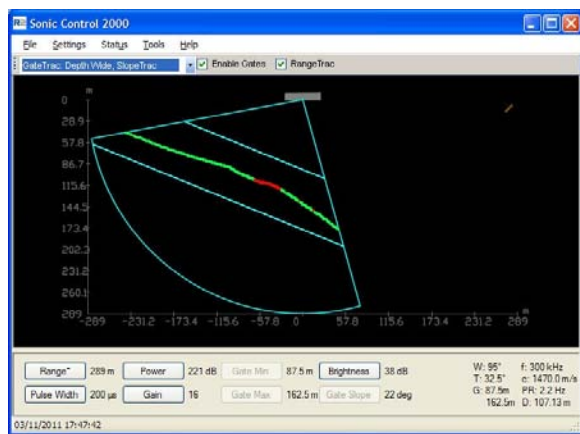
60° の急勾配の海底



ほぼ垂直に変化した地形



底質：岩、砂、泥、礫など



スワッス回転時のスロープ

※ 直下水深が得られない場合は、システムが直下水深を検出するように Gate Trac, Range Trac 機能を働かせる為に適切な Gate / Range / Slope 設定ではなくなる場合があります。その場合には、“Enable Gates” および “Range Trac” のチェックを外し Gate Manual モードで適切な Gate / Range / Slope 設定を行って下さい。

以上